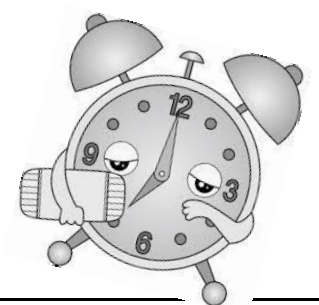



目標	入職日～数日 (集合研修)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1) 基礎的知識・技術・態度を身に付け、援助の元ベッドサイドケアが安全・確実に出来る。 2) 受け持ち患者のケアを通して看護の知識が深められる 3) 自分の役割と責任を認識し、支援、指導を自ら得ることができ、相談できる 4) チームメンバーの役割を認識し実践できる。 5) 自己の教育的課題を指導を受け発見する事が出来る。	1. 看護職員としての基本的姿勢を理解する。 2. 看護技術の基礎を学び、理解する 3. 電カルを理解する。	1. 病棟の雰囲気慣れる。 2. 挨拶ができる。(患者様・職員同士) 3. 部署の備品の保管場所、設備、構造がわかる。 4. 日中の業務の流れが解る	1. (転入)入院から退院(転棟)の流れを大まかに把握できる。 2. 指導のもと、必要な情報収集、観察ができる。 3. 指導者と共に、1日目のスケジュールをたてる事ができる。	1. 報告・連絡・相談の系統が分かる。 2. 報告・連絡・相談ができる。 3. 指導者と共に、日中の受け持ち業務が出来る。 4. 指導者と共に、手術患者の対応の一連の流れに対応できる。	1. 検査・処置の目的を理解し、介助等ができる。 2. 記録が規定を守り記載できる	1. 4名～6名の患者様の受け持ちができる。 2. 優先順位を考えた行動がとれる。 3. リーダーに報告ができる。	1. 急変の気づきができる。 2. 医療事故防止の重要性がわかる。 3. 休日の日勤業務が出来る 4. 夜勤に向けての心構えが持てる。	1. 医師への報告・連絡が出来る 2. 家族への連絡が出来る 3. 当院における災害時の対応が、おおまかに理解できる。 4. 夜勤業務の把握ができる。	1. 運出業務・早出業務ができる。 2. 少人数での連携の大切さを理解する。 3. 夜間の安全管理について考えることができる。	1. 夜勤の一人だちができる 2. 病棟の特性を理解している		1. 夜勤帯での優先順位を考えた業務が出来る 2. 病棟の特性を理解している	1. 出来なかった業務や体験していない業務を明確にできる。 2. 1年の振り返りができる。
学研メディカルサポート	バイタルサインの見方 (6. 呼吸・循環) 静脈血採血実施の安全な手順 (6. 呼吸・循環) 褥瘡を予防する (7. 創傷処置) 看護記録が見える！看護記録の書き方		安全な吸引・排痰を行うための手技とコツ (6. 呼吸・循環)		嚥下障害のある患者のための食事介助 (2. 食事援助)		多重課題を乗り越えつつためのコミュニケーションと優先順位の考え方 (14. コミュニケーション)	急変対応の実際 (9. 救命救急)	輸血の準備から実施、実施後の観察 (6. 呼吸・循環)	ここからスタート！心電図モニターとの付き合い方 (6. 呼吸・循環)			
I. 看護職員としての基本姿勢と態度	1. 看護部理念、目標について 2. 医療倫理、看護倫理について 3. ラダーについて												
II. 技術的側面	1. 環境調整		☆ 環境調整・ベッドメイキング										
	2. 食事援助					嚥下状態に合わせた食事形態に付いて							
	3. 排泄援助		☆ 留置カテーテル管理と排泄ケア				関節可動域について						
	4. 活動・休息		☆ 移送介助・トランスファーの実際										
	5. 清潔・衣生活		☆ 清潔介助 (清拭、陰部洗浄、入浴介助)										
	6. 呼吸・循環	採血・簡易血糖測定	☆ 酸素吸入	喀痰吸引					輸血の実際	心電図について			
	7. 創傷処置	褥瘡予防											
	8. 与薬援助	注射実技	☆ 筋肉注射・皮下注射・点滴静注		☆ 点滴の管理	☆ PCAポンプについて							
	9. 救命救急	緊急時の対応・コード・ブルー、コードホワイト							急変時・救急時の対応				
	10. 症状・生体機能				☆ 牽引の組み立て ☆ 検査介助 (ミエロ、ルートブロック)								
	11. 苦痛の緩和												
	12. 感染防止	感染予防の基礎											
	13. 安全確保	医療安全 ME機器説明								☆ 避難経路の確認・災害時の対応			
	14. コミュニケーション					報告の仕方：SBAR	多重課題						
III. 管理	15. 管理 1. 個人情報保護 2. 薬剤管理 3. 電カル、看護記録											1年の振り返り	
その他新人職員研修	1. 法人・病院概要 2. 交通安全研修 3. 接遇研修		医療・看護必要度研修				医療・看護必要度研修			☆看護研究発表会		フィジカルアセスメント	

学研メディカルサポート		
必須研修チェックリスト		
研修内容	予定日	受講日
守秘義務、個人情報の保護	4/5	
バイタルサインの見方	4/10	
褥瘡を予防する～発生要因の理解とアセスメント～	4/7	
安全な吸引・排痰を行うための手技とコツ	5月	
嚥下障害のある患者のための食事介助	7月	
取り違えては行けない薬を知る～医療安全の基礎知識～	4/11	
輸液ポンプ・シリンジポンプの安全な取扱とアラーム対応	未定	
カテーテル関連尿路感染管理を身につけよう	未定	
静脈血採血実施の安全な手順～採血・注射の合併症を含めて～	4/6	
ここからスタート！心電図モニターとのつきあい方～設定の確認とアラーム対応～	1 2月	
急変時対応の実際～患者の意識把握から応援要請まで～	10月	
多重課題を乗り越えつつためのコミュニケーションと優先順位の考え方	9月	
看護が見える！看護記録の書き方	4/5	
看護師資格は一生～いまを大切に生きることの積み重ねがキャリアをつくる～	4/2	
Stop! 転倒・転落～患者の安全を守るには～	未定	
輸血の準備から実施、実施後の観察	11月	
チーム医療とは何ですか？何が出来るか？	5月	
臨床倫理入門	未定	
その他の研修チェックリスト(手書き)		